

2022年9月30日
株式会社三菱UFJ銀行

「ディープテックベンチャーへの民間融資に対する債務保証制度」 を活用した融資契約の締結について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 当行）は、今般、Craif株式会社¹（以下 Craif）との間で、「ディープテックベンチャー²への民間融資に対する債務保証制度」（以下 本制度）を利用した実行可能期間付タームローン契約（以下 本契約）を締結致しました。

本制度は、経済産業省に事業活動計画を認定されたディープテックベンチャー企業が、経済産業大臣に指定された金融機関から融資を受ける際に、独立行政法人 中小企業基盤整備機構の革新的技術研究成果活用事業円滑化債務保証制度を利用できるものです。経済産業省は2021年8月より本制度を開始しており、本契約は本制度を活用した当行中部地区初の取り組みとなります。本契約においては、限度額上限の7.6億円（借入元本の50%）の債務保証を受けております。

Craifは、次世代検査のパイオニアとして、精確で痛みのない疾患の早期発見方法を確立し、「人々が天寿を全うする社会の実現」を目指しております。現在、当技術を用いて、尿からがんを早期発見する「miSignal^{®3}」の開発および販売を行っており、今回の資金調達により「miSignal[®]」の対応がん種拡大と更なる技術開発に役立てる予定です。

【本契約の概要】

融資形態	実行可能期間付タームローン
契約締結日	2022年9月28日
借入限度額	15.2億円
資金使途	事業資金、設備資金

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下 MUFG）では、自社のパーパス「世界が進むチカラになる。」を起点に、持続可能な環境・社会の実現に向けて優先的に取り組む10の課題を特定しており、「産業育成・イノベーション支援」を重点領域として位置づけています。MUFGは、引続きグループ一体で成長企業領域の持続的な成長を支援し、産業の更なる発展・拡大に貢献して参ります。

¹ Craifの詳細については、以下のリンクをご参照ください。

<https://craif.com/>

² 大規模研究開発が必要なベンチャー企業。一般的に、事業化・収益化までの期間が長く、且つ必要資金が大規模となることが多い。

³ miSignalの詳細については、以下のリンクをご参照ください。

<https://misignal.jp/personal/>

以 上